



「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

2010年、ワールドカップ年の会報をお届けします。私たち日産スタジアムボランティアには特に身近な岡田監督、中沢選手、中村選手の南アフリカでの活躍にTV画面をとおして一喜一憂しながら、同時に8年前のYOKOHAMAでのあの大きな感動と大歓声をを思い浮かべておられる方も多いことでしょう。

スタジアム建設時、トラック・芝ピッチを手掛けられた 大嶋 新副場長 着任

平成22年新年度スタートにあたり、19年から私たちとともに餅つき・注連縄など新しい活動を進めてこられた小山副場長が退任されて、新たに大嶋副場長が着任されました。新副場長は横浜国際総合競技場建設当時から新横浜公園建設に関わってこられて、11年3月の雪のダイナスティカップ日韓戦もご存知の、私たちの先輩とも言える方です。

今後とも、Jリーグ活動とともに、開発中の新横浜公園での新たな活動でも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



日産スタジアムボランティアのみなさんへ

副場長 大嶋 邦佳

ボランティアのみなさん、こんにちは。この4月から副場長に着任した大嶋です。まだ2カ月程ですが、様々な機会にみなさんのご活躍を目の当たりにして、競技場には欠かせない存在であることを実感しています。新横浜公園内の他の施設でも、機会があればご活躍いただく場面を増やしていただきたい、と勝手に期待しているところです。どうぞよろしくお願いします。

みなさんの多くは、FIFA2002ワールドカップを機会にボランティアの活動に参加いただいて、まる10年になるのでしょうか。実は、10年前の平成12年3月末までの4年間、私は新横浜公園の建設担当に就いていました。日産スタジアムの建設で1本目の柱が地上に建てられ、整備担当の職員が揃って見に行った場面を思い出します。私は造園職という立場で、競技場のトラックや芝生ピッチの整備を行いました。平成10年3月1日に行われた第4回ダイナスティカップの日韓戦が競技場のこけら落としでした。当日は雪も降る荒天で、雪かき用に建設機械も準備していました。しかし、芝生ピッチの下に敷設されたヒーティング装置を活用して、芝生面はサッカーの試合に全く支障ない状態になっていました。寒い中でしたが、6万人近い観客も入場し、感激で一層震えていました。その時から早くも12年が経過しています。これからも様々なビックイベントを開催したいと思います。

私もボランティア活動に参加しています。森づくりに関するもので、関わったきっかけは、仕事の延長線からでした。緑地を守り育てる業務に就いていたとき、市民の方々がやっている森の保全活動を活性化し、将来は市内の森をボランティアの市民に支えてもらえないか、という思いから活動の支援制度を8年前に作りました。そのときに、自宅に近い5ha余りの森の保全活動を希望する団体があり、発足時に参加したのがきっかけです。まだ8年間ですが、今も近所の住民として加わっています。長く続けていると様々な作業を共同して取り組む連帯感が生まれ、これが継続の動機になっているように思います。森の四季の変化を楽しめるものの、作業中は蚊の大群に悩まされるなどの苦労も多いのですが、一緒に励む作業仲間との交流や、荒廃した森が変わっていく楽しさが勝って今も続けられるのだと思います。みなさんも楽しかったことも多いと思いますが、辛かったことなど、いろいろな思い出があると思います。今後も楽しいボランティア活動の継続を願っています。

最後になりましたが、新横浜公園の指定管理者として2期目に入りました。平成27年3月末までが当面の期間ですが、みなさんからの力添えをいただくことで、現在の組織が3期目4期目へと継続して管理運営業務に励みたいと考えています。引き続きよろしくお願いします。

ボランティアの笑顔で スマイルスタジアム

平成22年度 新たなボランティア事務局制度が発足しました

日産スタジアム運営ボランティア事務局の組織変更について 日産スタジアム 佐藤 修

日産スタジアムボランティアの創立10周年を機会に、4月より事務局の組織変更を行いました。

1、事務局組織について

(1) 組織変更の理由

- ①運営委員会の解散に伴い、各部会の自主活動を継承するために、各部会を事務局に統合し円滑な運営を図ります。
- ②新しく「運営部会」を設置し、既存の事務局業務の履行と各部会活動の事務・調整を行います。
- ③諸活動において日産スタジアムとの連携を深めるために、各部会長を事務局員として任命し、事務局会議などとおして、スタジアムとの協議・調整をします。

(2) 運営ボランティア事務局員 (平成22年度 9名)

- ①日産スタジアムの委嘱 (1年間) を受けて、諸活動の企画・準備・運営にあたります。
- ②各部会の部会長としてその運営に携わり、ボランティアのコミュニケーションとスキルアップを図ります。

2、会議の実施について

「定例会」については、日産スタジアムより招集をかけるために「交通費」が支給されます。

(1) 定例会

- ①事務局会議 実施回数 年間6回程度実施
日産スタジアムとボランティア活動の運営・活動方針などを協議し、諸活動及び各部会活動の計画的かつ円滑な運営を図ります。
- ②運営部会 実施回数 年間31回程度 (※次頁、事務局運営部会業務参照)
諸活動の事前準備 (配置・資料作成など) 及び年度末調整などを行います。
- ③リーダー部会 実施回数 各年間6回程度実施 諸活動の円滑運営を図る研修などを行います。

(2) 部会 研修・交流部会、イベント企画部会、情報部会、環境・美化部会

実施回数 各年間6回程度実施

各部会はボランティアのコミュニケーションとスキルアップを図る事業の企画・運営します。

新事務局員の抱負

「事務局員抱負」 研修・交流部会担当 横塚 雅実
研修・交流部会は、日産スタジアム運営ボランティア活動の重要な柱であると同時に「他スタジアムなどのボランティアとの交流」とボランティアガイドにあるように外部団体との交流の接点となる特徴を持っています。この大切な任務を担当する部会としてできる限り頑張っていきたいと思っています。

「事務局員抱負」 リーダー部会担当 上田 敏彦
最近ボランティアに在籍されている方が減少していることを踏まえて、その原因と対策を真剣に対応していきたくて活動していきたいと思います。

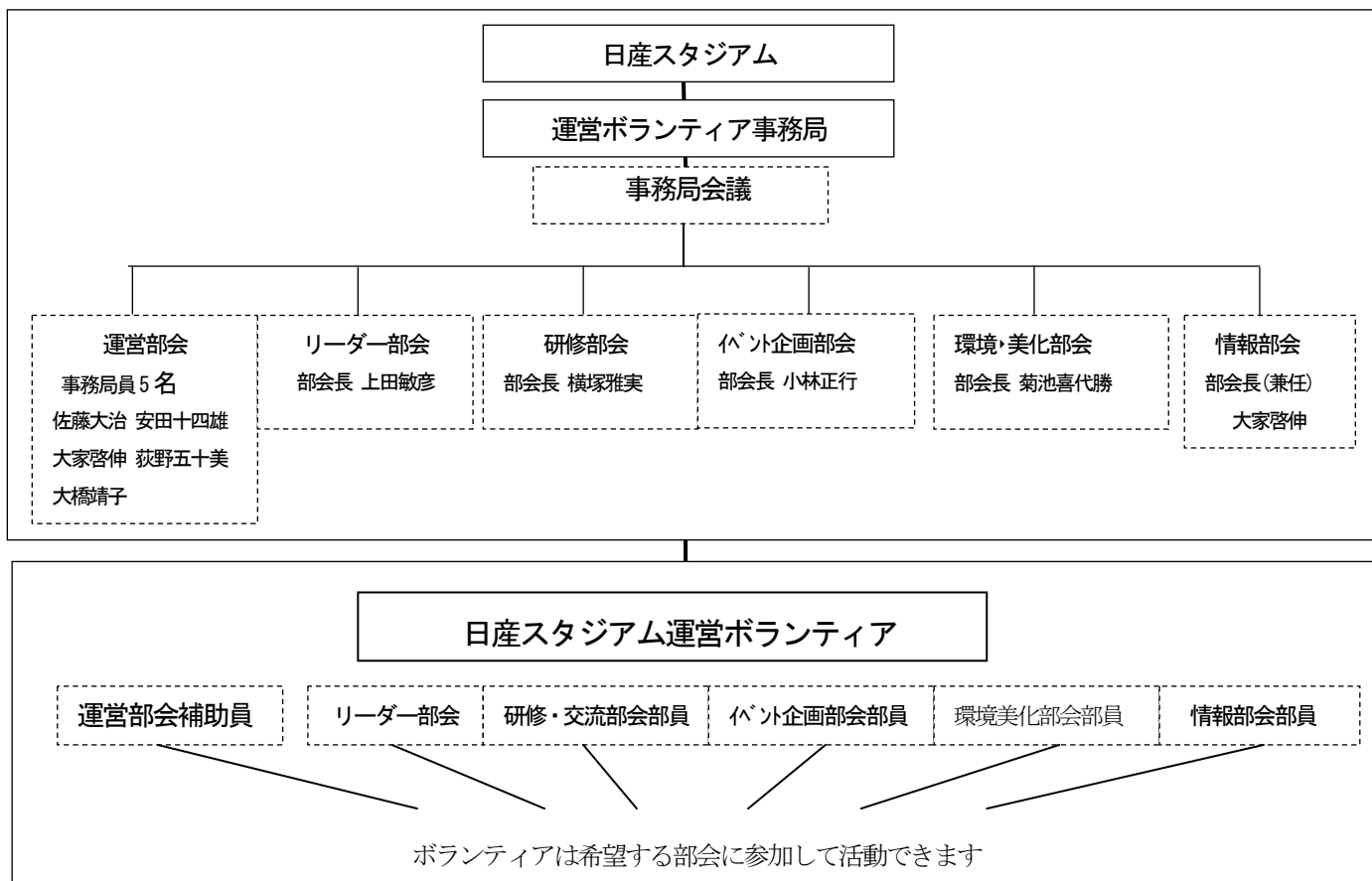
「今の心境」 運営部会担当 佐藤 大治
「半ボケになっているだろうし、長いことやったのだからもうやめなよ！」ボラ同期のNさんが、今年もまたもや言ってきた。「ボケは止らない、交替は考えているよ」「特に関係ないが、前号での事務所名物佐藤トライアングルはこの度解消された。次に佐藤ペアが解消され時が一応の区切りと思う。その時まで、全力で頑張るよ!」。「なんだか、分からんなー」とNさん。

「事務局員抱負」 イベント企画部会担当 小林 正行
新体制を期に新しい運営、新しい活動の在り方を目指し信頼される事務局としたい。更に運営ボランティアとは常に連携し活動を通じて、問題点などの情報を吸収し事務局員会議に提起しながら、閉鎖的にならない開かれた事務局とし、運営ボランティア共に力を合わせ明るい楽しい活動に協力していきたい。

その他の事務局員
大家 啓伸、菊池 喜代勝、荻野 五十美、大橋 靖子

「Manifesto」 運営部会担当 安田 十四雄
マリノスさんの Tricolore Bible の「感動を生み出す3つの行動基準」は、私たちボランティアにも大切な活動の心構えだと思います。ボランティアの全員が
毎活動に必携して行動できるように、事務局運営部会

日産スタジアム運営ボランティア組織図



ボランティア事務局 各部会 会議 議事録 (要約)

○ ボランティア事務局

第1回 平成22年4月3日 10:00～

出席者：佐藤修、佐藤大、安田、荻野、大橋、上田、横塚、小林、菊池、大家

議事：

1、各部会活動について

(1) 活動内容と年間計画

各部会ともに年6回を予定し実施日は各部会で検討する。各部員の募集を行い充実した活動ができるように努力する。

リーダー部会 リーダーの研鑽活動を中心に行い、隔月など定期的実施

イベント企画部会 2月に行われた全員集会で提案された事業を実施し、交流を図る

研修交流部会 ボランティアが全員集まり意見交換をし、活動の報告などを行う機会をつくる

環境美化部会 エコ活動の推進をスタジアムと検討する

情報部会 ボランティア10周年記念誌、「ボランチわ」第20号の編集・発行

(2) 補助事務局員 今後の活動内容が無ければ解散する

2、諸活動について

(1) Jリーグ時のVIP席・記者席清掃

スタジアムは開場時間前に職員が清掃、ボランティアとのジョイントなど諸条件を考慮して実施の可否を検討する

(2) 活動中のポット使用について

ポットの存在は理解されてきたので、各自でのマイカップ、パック茶などの持参を周知。途中の給水、片付けなど今後の維持・管理を皆さんができるようにする

(3) ポイント制度について 本年度継続



ボランティア事務局 各部会 会議 議事録(要約)

○ ボランティア事務局

第2回 平成22年5月12日(月祝) 16:30～ ボランティアルーム

出席者：佐藤修、佐藤大、安田、荻野、大橋、上田、横塚、菊池、大家

議 事：

1、各部会活動について

- 1) リーダー部会 ・5月29日開催の第2回リーダー部会議事録をもとに報告
 - ・事務局からJリーグ活動マニュアルの簡易版作成を依頼(7/24から使用開始)
 - 2) 研修・交流部会 ・4/24開催の第1回研修・交流部会議事録をもとに報告
 - ・第11回全国ホームタウンサミットへの参加はなし。 ・体験ボランティア実施内容は事務局と検討を行う。
 - ・救急救命講習をテーマに9月に実施する。(9/4・11・18のどれか1日で開催)
 - ・平成21年度研修会グループディスカッションの取りまとめ報告 ・今年度のフォローアップ研修の実施を検討
 - 3) 環境・美化部会 ・10周年事業で植樹した緋桜の維持管理を部会で行う。 ・6/13に新横浜公園内で田植えを行う
 - 4) 情報部会 ・ボランティア創設10周年記念誌を発行 ・ボランティア第20号を6月発行
 - 5) イベント部会 ・6/19にそば打ちのイベントを行う。参加者11名
- 2、VIP席清掃 ・改善策として記者席のみの清掃をボランティア集合時間2時間前から行うことにした。
・VIP席の清掃はマリノスサポートスタッフにお願いする。

○ リーダー部会

第1回 平成22年4月10日(土) 10:00～ ボランティアルーム

出席者：上田、安田、大輪、大家、菊池、加藤、横塚、森川、平原、竹内、鈴木国、坂本、佐藤大、佐藤修、

議 事：リーダーとしての業務の再認識

- 1：配置場所及びボランティア配置人数の確認(活動時間など)
- 2：横浜シミズの担当者との打ち合わせ
- 3：競技場内の再確認

第2回 平成22年5月29日(土) 13:00～ ボランティアルーム

出席者：上田、安田、大家、横塚、森川、坂本、大輪、林、加藤、岸本、鈴木、餅原、平原、佐藤大、佐藤修

議 事：(1) Jリーグ活動マニュアルの読み合わせ及び人員配置の再確認(マニュアル9～11ページ)

- (2) 配布物の指なめクレーム対策、指サックの使用可否
- (3) 電気ポットの使用可否
- (4) 年度末登録未更新のリーダー登録削除
- (5) 案内対応の確認

○ 研修交流部会

第1回 平成22年4月24日(土) 10:00～

出席者：横塚、平川、関本、星野

議 事：平成22年度の活動計画

- (1) 第11回ホームタウンサミット in 甲府について、開催告知、参加案内、事務局の了解。参加者ナシ
- (2) 救急救命をテーマとする研修夏から秋のナイトゲーム前に実施予定
- (3) 21年度研修会で意見交換したポストイトの取りまとめ依頼(リーダー部会平原さん、竹内さん)

○ イベント部会

第1回 平成22年5月1日(土) 16:00～

出席者：小林、菊池 他

議 事：「手打ちそば体験講座」について、講師選定と依頼

- 1：横浜そば打ち愛好会代表の村田さんに講師を依頼
- 2：6月19日(土) 実施 場所 ボランティアルーム 定員16名、参加費1000円

<p>🔊 ボランティア事務局及び各部会の会議議事録の詳細につきましては、その都度の活動時にスタジアム301号控え室の掲示板に掲示して公開されております。また、事務局 佐藤 修さんのデスクに資料が保管されてありますので、ご希望の方はいつでもご請求ください。</p>

平成22年度各部会員名簿

リーダー部会：上田敏彦（部会長）、岸本章、大輪正美、安田十四雄、大家啓伸、菊池喜代勝、餅原安廣、加藤史典、横塚雅実、森川文字、丹羽和央、網野勉、平原和彦、鈴木崇、鈴木国悦、坂本靖幸、林秀行
 研修・交流部会：横塚雅実（部会長）、平川みゆき、関本光俊、星野英一
 イベント企画部会：小林正行（部会長）、大家啓伸、久保正文、菅沼哲也、佐野平、村田秀雄、平川みゆき、真田志満子、森川文字、渡邊修、渡部福子
 環境・美化部会：菊池喜代勝（部会長）、中井雄三、長谷川博一 情報部会：大家啓伸（部会長）、安田十四雄



部会に参加してください!!!



Jリーグ活動やイベント活動と一緒に部会員になって、楽しい仲間と部会活動を楽しみませんか。あんなこと、こんなこと、あなたの思い浮かべる企画を生かして部会をもっと活性化させてください。各部会とも会合は活動終了後などに開いています。ご希望の方は各部会長、ボランティア事務局までお申し出ください。



横浜F・マリノス トリコロール バイブル 発表



横浜F・マリノスさんより、スタジアムで働く様々な人々、クラブのコーチ、スタッフそしてパートナー、マリノスに関わるすべての人がチームの一員として必携する「TRICOLORE BIBLE」（トリコロール バイブル）が交付されました。これは私たち日産スタジアムボランティアにとっても、活動に携わるための心構えとしてこの「3つの行動基準」を是非実行してまいりたいと思います。この冊子はJ活動のときにお渡しして必携していただいておりますが、まだお手元にない方は事務局にお申し出ください。

Yokohama F・Marinos TRICOLORE BIBLE (抜粋)

横浜F・マリノス トリコロール バイブル

□ 感動を生み出す3つの行動基準

フットボールパークに感動を届けるために、私たちが行動する上での行動基準を3つ掲げます。

【SAFETY／セーフティー】

3つのうち最優先されるのがSAFETY（安全）です。お客さまの立場に立って、この安全を考えると、大事なことは、お客さまの「心のやすらぎ」をいかに提供できるか、という点です。例えば、「小さなお客さまに危険ですの、ごゆっくりお進みください」と、ひと声かけることで防げる事故や解消できる不満はあります。

【FAIR PLAY／フェアプレー】

サッカーの試合で、最初にピッチに現れるのはFAIR PLAYフラッグ。そのことから、FAIRPLAYがフットボールパークにおける活動の重要なスピリットであることがお分かり頂けると思います。まず、すべてのお客様をリスペクト（尊敬の念をもつ）するという。そして、お客様だけでなく、すべての仲間を、すべての相手チームをお互いに認め尊敬することも大切です。次に、誠実に対応するという。それは、言葉遣いや対応が丁寧だけでなく、心をこめ、相手の立場に立って自分から行動することです。例えば、何かを探して困っている人がいたら、まず自分から声をかけること。見て見ぬ振りをするのではなく、積極的に行動しましょう。公正に全力を尽くしましょう。

【TEAM WORK／チームワーク】

サッカーはひとりでは決してできません。しかし、単に11人集まればできるということでもありません。プロの選手たちが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台をつくり、感動を届けるために、1試合で約1000人のスタッフが仕事に携わっています。試合では、選手とその他すべてのスタッフのチームワークが試されていると言えます。試合はタイムスケジュールに沿って運営されており、与えられた仕事をてきぱきと効率よく行うのが何よりも大切です。その効率はお客様にとっての効率です。お客様の立場に立って、お客様の貴重な時間をムダにしない。そのための効率であり、チームワークです。

チームワークを発揮するために必要なこと。それは、ひとりひとりが、責任ある行動をとることです。責任を全うすることで、お互いの信頼は生まれます。また、効率的な仕事で、お互いを助け合う余裕も生まれます。仲間を活かし、自らも活かされるそんな雰囲気を作りましょう。

漫画 「 ボランティア活動 百態 (その1~4) 」

「ボランチわ」にもいよいよ漫画が登場しました。ボランティアの舛永正夫さんの作品です。登場人物は誰でしょう？舛永さん、お待たせしました。4作品を一挙公開です。腕をふるっての次作品を期待しています。



平成21年度 活動実績によるポイント該当者の皆さんへのチケット配布

ポイント制の実施に伴い、今年も横浜マリノス（株）様のご好意により、Jリーグ観戦チケットが届きました。既に8月末までのチケットは半数の方にお渡ししました。9月以降分の半数は8月からの配布予定になります。

平成21年度ポイント該当者 ※昨年の活動ご苦労様でした。本年度も宜しくお願いいたします (ボランティア事務局 安田)

〔11年度〕 井出清四郎、荻野五十美、大輪正美、小林正行、青木義次、安田十四雄、田中正子、大家啓伸、能澤末喜、舛永正夫、米口功一、上田敏彦、岩松節子、大橋靖子、久保正文、菊地喜代勝、野見山捷一、中藤早苗、瀬尾孝子、山本勇、松原豊、中山正、志方興三、加藤史典、鈴木崇、荒川栄、鈴木克明、筒井由美子、横塚雅美、佐藤大治、佐藤辰夫、石川比呂子、尾形玲子、川尻和子、花井玲子、小貫辻雄、副島由紀、加藤仁樹、永田葉子桑原卓司、水山亮、吉田祥子、原敏美、高橋桂子、津久井喜代子、餅原安廣、岸本章

〔15年度〕 小野愛生、丹羽和史、長山秀雄、渡辺修、大石忠雄、落合明人、関本光俊、花井節、真田志満子、重高一登、指指篤二、森川文子

〔16年度〕 高橋義彦、富田民男、中井雄三、城島明暢、鷹嘴芳之、平原和彦、長谷川博一、富田聖子、押尾正明

〔17年度〕 重田和男、志賀君枝、白井テルミ

〔18年度〕 南川圭一、浅見仙一郎、松本久子、中澤ふさ子、長川益夫

〔19年度〕 石井篤、斉藤義隆、倉橋セイ子、仙名壽嗣、三井卓、梶原孟正、田辺幸男、渡邊福子、石川泰子

〔20年度〕 竹内利光、坂本靖幸、斉藤博道、関真由美、榊原義憲、

〔21年度〕 富田佐智、白井勝秀 以上92名 敬称略

📌 **プロジェクトVよりのお知らせ** 「プロジェクトV会計残高報告」 プロジェクトV代表 菊池 喜代勝

20年度は、渉外担当が、不在になり、招待するクラブに声かけすることができなく、現在は一時活動が中断しております。22年度より活動を再開したいと考えています。また皆さんの中で渉外担当をしてみようと思う方を募集しております。
〔平成22年3月31日現在会計残高 161,101円〕 (会計担当 高瀬さん保管) 詳細は菊池までお問合せ

「今年の田植え」

新横浜公園のテニス場西の堤のふもとにある、フェンスに



囲まれた一角にスタジアムの田圃があります。ここは、ヨコハマナガゴミシの生息地として、国交省が指定した地域の為フェンスが設けられましたが、近年に生息の未確認により解除された土地とのこと。また、遊水地一帯を地域環境として昔の田舎風景実現をテーマで取り組まれています。近代的なスタジアムの隣で、田圃開拓も蛍の郷・蛙生息・自然の花ある風景などが進められています。そんな中で、スタジアムの清水さんが昨秋から35坪程を新田開拓されて50坪強の広さになりました。6月13日、今年も新羽町の「舟運プロジェクト」の属する小学生・先生・保護者の皆さん50名が集まり田植えが行なわれました。ボラも4名参加してお手伝いをしました。「舟運プロジェクト」とは、昔活躍されていた鶴見川を行き来していた舟に係る団体で、スタジアムテーマに見られます。この田圃は葦や蒲の茂る湿地帯であったため、田圃には適さない土壌で苗を植える後から苗が浮いてしまう状態です。子供達のドロンコ姿と笑顔を受けて根つくことを願っています。



イエローカード

東西北各ゲートの業務のチラシ配布は時によって5～7種類と大変な量になることがありますね。チラシの種類によってとても配りにくいものもあります。そこでついつい「指をなめなめ」お客様に渡している光景がときどき見られます。ご本人は無意識のうちに行っていることではと思いますが、脇から見てとても不快ですし、チラシを受け取るお客様は思わず手を引っ込めてしまいます。どうぞ絶対に指をなめる行為を止めてください。チラシをめくり難い人はゴムの『指サック』を使用してください。以前は備品として指サックを用意しましたが、持ち帰ってしまう人が多く、また、衛生的にみても指サックは個人として用意する品であると思います。チラシは、よくホグすと配りやすいですよ。



活動ファンポイント

昨年のスタジアムボランティア10周年記念行事が行なわれた際に実行委員会に当たった方々から「10周年の記念に何か有意義なものを残そう」との話が持ち上がり、その中で「活動時に皆さんがお茶などで喉を潤える『ポット』が会費残金から購入されました。リーダー部会を通してスタジアムから「ボランティアの皆さんが気持ち良く活動できるものであるならば設置の便宜を図る」との理解を得て、事務局・リーダーの配慮によって、J活動時に各控え室にポットを設置しお湯を提供してまいります。コップ・お茶の用意までは出来ませんので、各自で『マイカップ』茶葉など持参してお湯を活用して下さい。尚、茶葉・コーヒー・紙コップを寄贈頂ければ有り難いです。長く継続できるよう皆さんの積極的なフォローをお願いします。(担当 菊池)



